

令和7年度第2回日野市入札及び契約等監視委員会議事概要

開催日時場所	令和8年1月8日（木）10時～11時 日野市役所本庁舎1階 101会議室
出席委員	委員長 藤村 和正（明星大学建築学部教授） 委 員 藤澤 整（弁護士 シャローム法律事務所） 委 員 蝦名 潤（税理士 蝦名・加瀬会計事務所）
◆議事次第	
1. 開会 2. 審議事項 (1) 対象案件の概要及び対象案件一覧について (2) 工事契約制度の見直しについて 3. その他 4. 閉会	
4. 審議事項	
(1) 対象案件の概要及び対象案件一覧について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回は、令和7年7月1日から12月31日までに締結した契約が対象。 ・ 総件数は326件、前年比マイナス35件。 ・ 工事件数が31件、前年比プラス8件。増加の主な要因としては、入札中止や不調により、年度の後半にずれ込む件数が多くなったため。 ・ 委託の件数が141件、前年度比マイナス26件。減少の主な要因としては、昨年度は樹木の枝が折れ歩行者の上に落下する事故があり、市内の樹木について緊急的な点検を実施したことで件数が多かったが、今年は突発的な案件がなかったため。 ・ 貸借の件数が44件、前年度比マイナス24件。減少の主な要因としては、昨年度は再リースが多かったため。 ・ 落札率50%未満の契約は委託1件で「幹線市道I-10号線ほか3路線舗装たわみ量調査解析業務委託」になるが、契約決定の前に業者へ電話連絡し金額に間違いないか確認済み。現在も問題なく履行している。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都奈良修学旅行付添看護業務委託」について、落札率が低めだが、これは問題なく履行しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・例年委託している業務であり、昨年度も低い落札率であった。 ・昨年度、今年度も問題なく履行している。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・競争入札の場合でも、落札率が100%のケースが多くあるが、これは1者しか落札がなかったということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1者しか落札していないケースもあるが、他の業者も応札したが、金額が予定価格を超えているケースも多くみられる。
(2) 工事契約制度の見直しについて	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・工事契約制度の見直しについて資料に基づき説明。

	<p>見直しは大きく 6 項目となる。見直す内容について意見等あれば伺いたい。</p> <p>＜見直し項目＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 現場技術者（営業所専任技術者）の専任義務の合理化 ② 現場代理人の常駐義務の緩和 ③ 5,000 万円ルールの撤廃 ④ 同日案件の運用見直し ⑤ 総合評価方式の改訂 ⑥ 前払金及び中間前払金の最高限度額撤廃
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・現場代理人の常駐義務の緩和の件で、兼務の条件として「営業所の専任の技術者でないこと」があるが、営業所の専任の技術者の配置について教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業許可を取る為に、営業所に専任技術者を配置することが必要となっており、工事の金額にもよるが、その方は基本的には他の現場の代理人での配置ができないこととなっているため、このような条件を付けている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価方式の改訂について、対象金額が変わることで、今回提示していただいた令和 7 年 7 月から 12 月の契約一覧の中でみると、該当は 2 件程度になるということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 ・東京都も総合評価の適用金額を上げている状況がある。 ・総合評価ではない価格競争の案件を増やすことで、今まで参入が難しかった業者が参入し、実績を積めるようになること。また、価格競争の実績を積むことで、総合評価への参入機会に繋がり、競争性が確保できるようになることを狙っている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価方式の対象金額を変更することや評価項目の見直しを実施することで、不調等が減るイメージはあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、当初総合評価方式で入札を執行したが不調となり、価格競争に切り替えた案件もあったが、その際は、新たな業者が入札参加することとなり、不調が解消されたケースもあった為、参加事業者数が増えることを期待している。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・契約制度の見直しは、全体的な見直しとなるため、どこに影響があったのかという分析は難しいと思うので、今回の見直しで不調が減ったという結果が出ると良い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、大幅な契約制度の見直しになるため、来年度は変更したことによる影響を検証していきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な要素も関わってくるので、制度の見直しがそのまま結果に繋がることの難しさがあるので、検証する部分をフォーカスして実施する方がよい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価方式の評価項目の中で、「日野市 S D G s 推進事業登録」の有無があるが、取得のハードルは高いのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の方の審査もあるので決してハードルは低くない。また、取得してから 3 年間の有効期限がある。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価方式について、令和 8 年 4 月から適用の大幅な制度変更かと思うが、

	軽微な変更は今後実施していくのか。
事務局	・日野市の独自の評価項目については、各課の方針や状況も踏まえて、見直していくことを検討していきたい。
委員長	・事務局提示の内容で進めていただきたい。
その他	令和8年度の開催日程について
事務局	・例年第1回の開催を7月中旬から下旬ごろ開催しているが、令和8年度第1回は、9月中旬以降の開催を予定している。